

※松前町が協定を結んでいる松前町建築協議会から耐震診断士を派遣する制度です。

松前町の耐震化促進事業「派遣制度」<sup>※</sup>を説明するよ。

木造戸建て住宅  
(S56.5.31 以前に着工)

耐震診断の事前準備のため  
電話1本で職員がお伺いします！

# 1 耐震診断

現地で住宅の構造等を調査し、耐震性を診断します。

耐震あり or 耐震性なし

診断  
無料

診断・設計監理が無料なのは  
県内で松前町だけだよ。



# 2 耐震設計監理 & 耐震工事

補強方法の検討し→設計図書の作成 & 耐震補強工事 + 設計のとおりにより工事されているかチェック！

設計監理

無料

工事

125 万円 + 55.2 万円

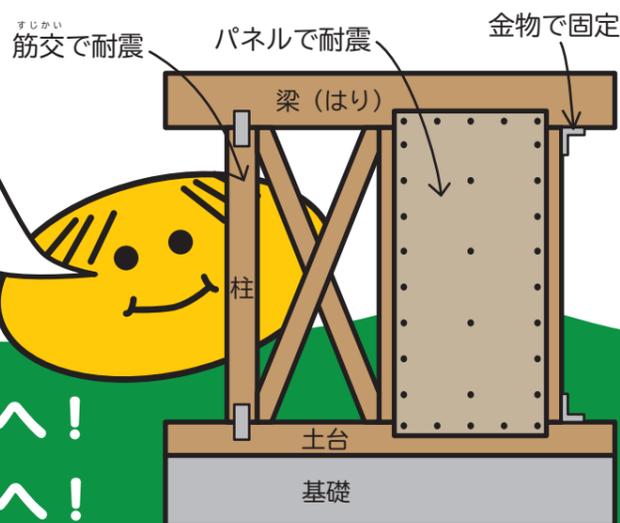
瓦屋根

55.2 万円

段階型

50・20 万円

新しい安価な工事方法もたくさんあるよ！  
家具の固定やブロック塀も一緒に考えよう！  
まずは無料の耐震診断からだね！



地震について知るときは中面へ！  
耐震化の手順と補助金は裏面へ！

☎ 089-985-4136

松前町まちづくり課都市デザイン係 (営繕担当)



▲松前町 HP

# 南海トラフ地震まで時間がない！ 住宅の耐震化をしましょう！

(昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象)

## 安心

自分・家族・地域の人、大切な命を守る！

## 簡単

電話1本で町職員がお伺いします！

## 無料

耐震診断・設計監理費

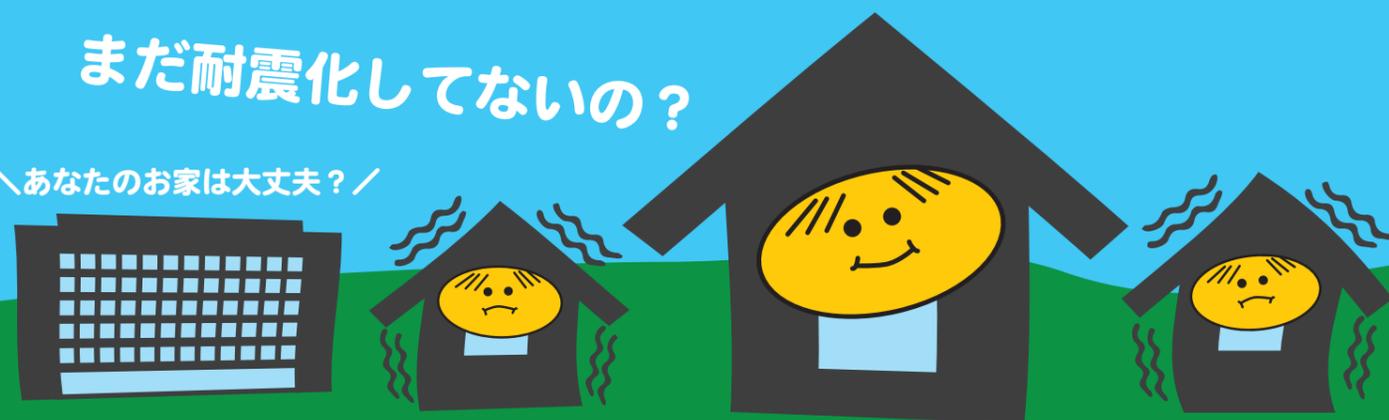
※工事は一部自己負担あり

## 税優遇

固定資産税・所得税額の控除あり

### まだ耐震化してないの？

あなたのお家は大丈夫？



☎ 089-985-4136

松前町まちづくり課都市デザイン係 (営繕担当)



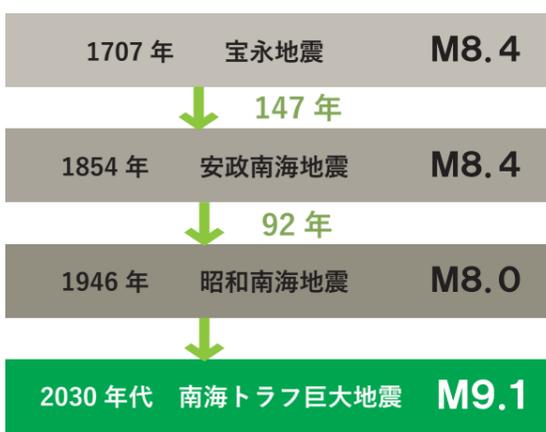
▲松前町 HP

# 地震の力・木造住宅への被害を知る

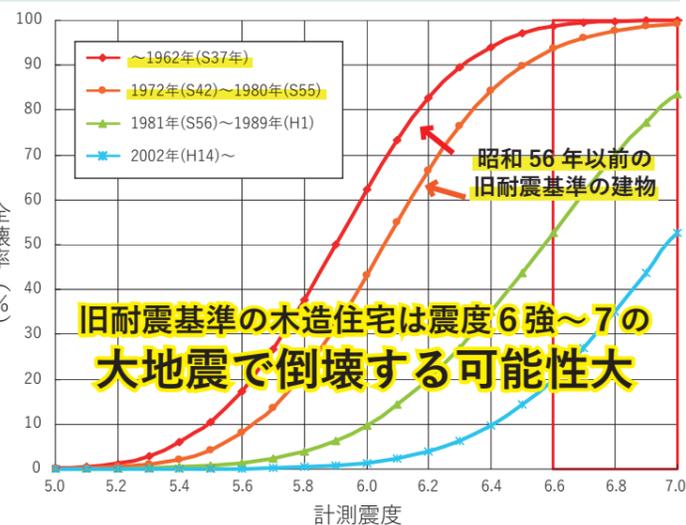
地震は自然現象です。いつ、どこで、どれぐらいのものが発生するのか、正確なことは分かりません。そこで、過去の地震や、その被害を振り返り地震への備えを一緒に考えましょう！

## ◎過去の地震から未来の地震を考える

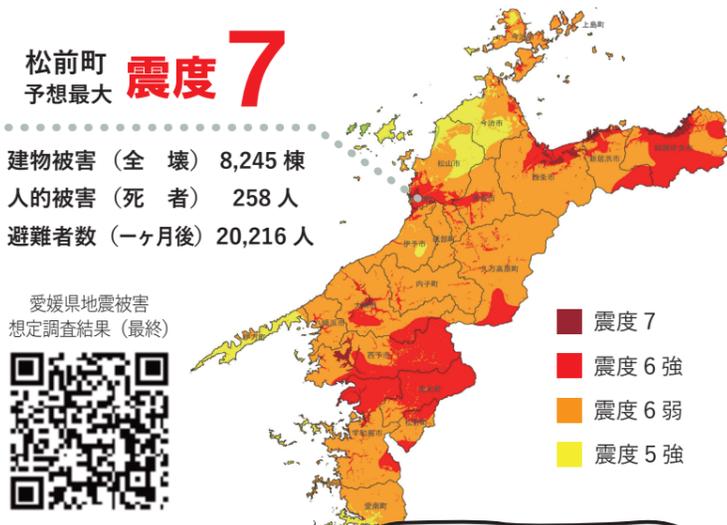
南海トラフを震源とした巨大地震は定期的に発生しています（右の通り）。また、各巨大地震発生約40年前から、日本列島の内陸部で地震が増加することが分かっています。1995年の阪神・淡路大震災をはじめ、熊本地震など内陸部の地震が頻発している現状は、次の南海トラフ巨大地震に向けての活動期に入ったとも言われています。過去の地震歴と最新研究の結果から、次の南海トラフ巨大地震は『2035年±5年（2030年代）の間に発生する』と言われていることから、2020年代には、いつ巨大地震が来てもいいように準備を完了させなくてはなりません。内閣府の想定では、次の南海トラフ巨大地震の規模は最大でM9.1、愛媛県地震被害想定調査結果において、松前町は最大震度7が予想されています。まずは立ち向かう敵、地震の力を知りましょう。



## ◎地震の強さと全壊率関係（木造住宅）



## ◎松前町の予想される震度・被害



下の写真は令和6年能登半島地震の被災状況だよ。まちづくり課の職員が被災地支援で派遣されたんだ。急いで松前町の家を耐震化しないと！って思ったよ。



松前町の被害予想は他の市町より大きいよ！昭和南海地震では県内最大の被害が出たんだよ…。

## ◎まちづくり課の職員が令和6年能登半島地震の被災地支援に行ってきました！



# 自分の家の強さ・必要な地震対策を知る

敵である地震の力が分かったら、迎え撃つ自分の家が持つべき強さを考えましょう。家の強さは耐震診断による「評点」が物差しです。『評点1.0が現在の耐震基準ぎりぎりの強さ』に相当すると考えてください。

## 【耐震改修チャート】

震度	5弱	5強	6弱	6強	7
無被害	1.0 1.3	1.3			
小破	0.4 0.7	1.0	1.3		
中破		0.7	1.0	1.3	
大破		0.4	0.7	0.7 1.0	1.3
倒壊			0.4	0.4	1.0 0.4 0.7

## ◎耐震診断の評点と被害の関係

地震被害の大きさは、『地震の大きさ』と耐震診断で計算される『評点』で予想できます。この関係を示したのが下の耐震改修チャートです。表の中の数字は住宅の評点を表しており、評点が高くなるほど地震に対する被害の程度が軽くなるのがわかります。例えば、評点0.4の住宅0.4は、震度5弱の地震であれば小破程度、5強の地震であれば大破のおそれがあることがわかります。震度6弱以上では倒壊を覚悟しなければなりません。評点0.7の住宅0.7は、震度5弱のときの被害は小破で評点0.4の時と変わりませんが、震度5強の被害は大破から中破に軽減されています。震度6弱、6強のときの被害も倒壊から大破に軽減されており、命を守ると言う観点から、最低でも評点0.7程度の強さに高める事が効果的だと言えます。

## ◎家の目標評点を決めましょう！

耐震改修チャートをよく見て、パワーアップさせる目標評点を決めましょう。ただし、目標評点を高くすると、当然費用も高くなります。目標の標点と費用のバランスを一緒に考えたいですね。そこで、診断士さんと相談しながら、概算費用を計算してもらいましょう。耐震工事の費用については松前町の補助金（最大125万円）があります。なお、正確な費用は耐震設計（※）をしなければ決まりませんし、実際に工事が始まらないと分からないこともあります。（※耐震設計は工事を行う予定の方を対象とし、松前町派遣制度で無料で行えます。）

## 【耐震工事の様子】



## 【被害状況と住宅イメージ】

	被害の様子	修復の可能性と被害状況
無被害		<b>ほぼ無被害</b> ● 仕上げのモルタル、漆喰などに軽微なひび割れが発生する可能性 ● 壁紙にしわがよることがある
小破		<b>継続使用可・軽微な補修要</b> ● 部分的なタイルの剥離 ● 窓周辺のモルタルなどにひび割れ ● 瓦のずれ、部分的落下
中破		<b>避難生活の可能性・多額の修復費用</b> ● 外壁の剥離、脱落 ● 窓、扉の開閉不具合 ● 内装仕上げの剥離
大破		<b>避難生活・修復困難</b> ● 内外装の激しい剥落 ● 大きな柱の傾き、窓や扉の損壊 ● 余震による倒壊の可能性
倒壊		<b>命を落とす可能性大</b> ● 室内空間がなくなる ● 近隣への影響大 ● 火災発生の可能性大